

地域ネットワークだより

新生

かごしま女子駅伝

第38回 鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会

鹿児島 4年ぶりの栄冠!



👑 優勝 鹿児島



👑 2位 始良



👑 3位 日置



👑 4位 大島【Bクラス優勝】

第38回かごしま女子駅伝（鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会）が1月26日、霧島路を舞台に行われました。中学生3人まで、実業団選手は1人までという新ルールの下、4区で首位に立った鹿児島チームが4年ぶり5度目の総合優勝を果たしました。また昨年Cクラス優勝の大島は一気に4位Aクラス入り、Bクラス優勝を成し遂げ台風の目となりました。12地区の熱戦の結果はMBCホームページでご覧いただけます。



かごしま女子駅伝
ホームページ



5位 肝属



6位 出水



7位 川辺



8位 川薩



9位 曾於【Cクラス優勝】



10位 指宿【躍進賞】



11位 熊毛



12位 伊佐

第3回 防災パートナーシップ会議開催

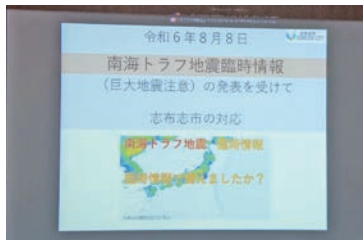


MBCは県内全市町村と「防災パートナーシップに関する協定」を締結しており、各自治体と防災情報の発信や防災活動に取り組んでいます。この一環として各市町村の防災担当者との情報交換を目的とした「第3回防災パートナーシップ会議」を1月31日にMBCで開催しました。

■志布志市 萩原正彦 危機管理監による事例報告



会議にはオンラインを含め県内34自治体が参加しました。会議では、まず志布志市の萩原政彦危機管理監が昨年8月に発生した日向灘地震と、続いて発表された南海トラフ地震臨時情報への対応について報告しました。志布志市では震度4を観測し津波注意報発表を受けて避難所開設数や避難者数などホワイトボードを活用して情報共有しながら対応した状況など、当時の画像を使いながら紹介しました。また、初めて発表された南海トラフ地震臨時情報の発信の難しさなども報告。「日ごろからの備え」の啓発や、被災地から学ぶことの大切さが紹介されました。



■錦江町 小瀧弘規 防災専門監による事例報告



続いて錦江町の小瀧弘規防災専門監からは防災教育への取り組みについて報告がありました。田代中学校では「知る」「考える」「動く」をテーマに災害時の行動などを記した防災チラシを作成したことや田代小学校のハザードマップ発表会等の事例報告がありました。子供たちに正しい防災意識や行動力を持ってもらうことが防災上の最重要課題との防災教育への思いや、小学生や中学生への接し方のコツ等も紹介されました。



■垂水市でのIPDC実証実験の様子

(MBCテレビ「かごしま防災スイッチ」より)

MBCからは地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段である「IPDC」の進捗について説明を行いました。このIPDCはテレビの放送波を使用して各家庭に防災、災害情報を一斉伝達するものです。今年1月に行われた垂水市の桜島爆発総合防災訓練ではこのIPDC装置を現地で使用し実証実験を行いました。会議では実際に使用した垂水市から、実用化に向けての要望や期待についての報告も行われました。



防災パートナーシップ連携番組

ラジオ番組 「ゆうぐれエクスプレス」

毎月第1・第2金曜日
18時28分ごろ放送



担当
城光寺剛アナウンサー

防災担当者が電話出演し広報を行っています。現在3巡目。

テレビ番組 「かごしま防災スイッチ」

毎週土曜日
12時55分から放送



過去の災害映像や防災に関する知識、県内自治体の防災取り組みを紹介



始良市「まもるフェスタ」
昨年11月放送



肝付町「子ども防災スクール」
昨年8月放送

現役学生による

「心惹かれる企業」情報発信

今年度、鹿児島県から受託した
「現役学生による「心惹かれる企業」情報発信」の
コンテンツ公開が始まりました。



これは、県内企業の認知度向上を図るため県内の大学生が
取材・作成した地元企業20社の魅力を伝えるPR動画と記事を
県のホームページで情報発信する取り組みです。



動画は県ホームページやYouTube県公式チャンネル、
県公式動画サイト「インターネット放送局『ムーブ!かごしま』」、
鹿児島県就職情報提供サイト「かごJob」にて公開されて
います。



大学生が感じた県内企業
の魅力ポイントを是非ご覧
ください。



龍郷町町制施行50周年記念

「たつごろうウィーク」

たまさんぽ 取材記



奄美大島北部にある龍郷町は2月10日に町制施行から50年の節目をむかえました。

MBCでは「自然・歴史・文化をつむぐまち」龍郷町の魅力をラジテネネットで発信する「たつごろうウィーク」を展開しました。2月15日、16日に行われた記念式典にあわせ玉谷アナウンサーが龍郷町内を巡りました。



龍郷町は大島紬のふるさととして知られています。大島紬の工程の一つ「泥染」を初体験、藍染と泥染を繰り返し、オリジナルのTシャツづくりを体験しました。体験を通して泥染の奥深さ、緻密さを感じることができました。



▲(左)龍郷町地域おこし協力隊 川崎光緑さん(兵庫出身)
(右)天然藍染・草木染め工房 碧屋 奥田聡子さん(京都出身)

美しい海岸線を見ながら町の北部、幾里集落へ。奄美の家庭料理が人気の「あらば食堂」でランチを頂きました。料理を作ってくれる曜日ごとのおば(島のお母さん)たちの温かさにも触れて、初めてきたのにずっと前から知っているような不思議な感覚でした。



西郷隆盛が船を係留したといわれる史跡が残る久場集落の龍郷コーヒー園では、3,000坪の広大な敷地でコーヒーが栽培されています。

園主の松崎俊一さんに教えて頂きながらコーヒーの収穫を体験しました。普段何気なく飲んでいるコーヒーの一杯が、多くの手間と時間をかけて作られていることを学びました。

さわやかさの中に深みのある美味しい一杯。大自然の中で頂く贅沢な体験でした。



玉谷アナが龍郷町を「たまさんぽ」した模様は2月21日の「かごよんフライデー」で紹介しました。動画はMBCのyoutubeチャンネルで見ることができます。

